

オーディオ実験室収載

FIDATA HFAS1-S10 の活用(19) —ファームウェアのアップデート—

1. はじめに

「HFAS1 シリーズ」用の最新ファームウェア 1.40 が公開され、アップデートを適用することで、HFAS1-S10 でも「fidata CD リッピング」および「fidata CD トランスポート」を利用できることになりました。そこでファームウェアのアップデートを行い、新機能を評価することにしました。

2. HFAS1-S10 のファームウェアアップデートの準備

ファームウェアアップデートに関するプレスリリース内容は以下のサイトに示されています。

<http://www.iodata.jp/news/2016/information/fidata-update.htm>

HFAS1 シリーズ ファームウェア 変更概要は以下のとおりです。

■Ver.1.30 → Ver.1.40 (2016/12/14)

- ・CD リッピング機能を追加
- ・CD トランスポート機能を追加
- ・データ DVD/BD インポート機能を追加
- ・設定画面に fidata ロゴを配置
- ・ファームウェアアップデート時に、プレイリストを消去するように変更
- ・システム情報にインターネット接続状況を追加
- ・ホーム/バックボタンに文字列を追加
- ・WAV コンテンツにてメタデータが表示されない場合があった件の修正
- ・MQA コンテンツにてアートワークが表示されない場合があった件の修正
- ・その他安定性の向上

インフォメーション全般は以下サイトにあります。

<http://www.iodata.jp/fidata/index.htm>

インターネットに接続していない fidata を最新の状態にする方法は下記サイトにしめされています。

<http://www.iodata.jp/lib/manual/pdf2/fidata-fwup.pdf>

CD 関連機能のマニュアルは以下サイトにあります。

<http://www.iodata.jp/fidata/support/index.htm>

動作確認済 CD ドライブの情報は以下サイトにあります。

<http://www.iodata.jp/news/2016/information/fidata-update.htm>

動作確認済 USB ハブや HDD の情報は以下サイトにあります。

<http://www.iodata.jp/fidata/support/compatible.htm>

手持ちの CD ドライブは Plextor Premium 2U ですが、動作は不明です。

CD ドライブを新規購入するとなれば、IO データ機器の BRD-UT16WX とオリオスペックの RP-EC5U3AI-S09X が候補に挙がります。

手持ちの USB ハブは古いものがありますが、動作確認がとれているのは次のものです。

HD-U3HB4TP US3-HB4AC US3-HB4

3. HFAS1-S10 のファームウェアアップデート

インターネットに接続していない fidata を最新の状態にする方法のマニュアルに従ってファームウェアのアップデートを行います。

CD 関連機能のマニュアルに従って USB ハブを介して CD ドライブと HFAS1-S10 を接続します。

Kinsky から見て行くと、インターネットに接続しておらず、メタデータを取得していませんので、次のような表示で再生トラックを選択します。

⇒HFASxxxxx

⇒フォルダー

⇒#CD

⇒トラック表示

4. HFAS1-S10 試聴のテスト

まず、手始めに CD ドライブを接続せず、手持ちの古いハブを介して、HFAS1-S10 と DAC を繋いでみましたが、ハブを介すると Kinsky から DAC を認識していないことがわかりました。

このため、動作確認がとれているハブということで、IO データ機器の US3-HB4AC を新たに購入して接続し、この状態でハブ経由で DAC が認識されることを確認しました。



ハブが認識されたことで、ハブに Plextor Premium 2U を接続し、Kinsky で Plextor Premium 2U を認識し、再生が可能かどうか確認しましたが、ドライブ内の CD の

内容が Kinsky の画面に出できません。

そこで Plextor Premium 2U の代わりに、新たに購入した動作確認済の IO データ機器のドライブ BRD-UT16WX を接続し、この状態でドライブが認識されることを確認しましたが、やはりドライブの CD の内容が Kinsky の画面に出できません。



そこでもう一度ファームウェアの update のやり直しをすることにしました。当初はダウンロードした圧縮ファイルを解凍しようとしますと、インストールしますか？と聴いてくるので PC にインストールするわけではないので、ダウンロードしたまま USB メモリーで HFAS1-S10 の USB ポートに挿しこんでいました。改めて、インストールしますか？と聴いてきたとき、インストール OK で解凍し、解凍したもの USB メモリーに移して HFAS1-S10 の USB ポートに挿しこんで無事ファームウェアの update が終了し、LANDISK のシステム設定の画面でもドライブの設定項目が追加されていることを確認できました。なお、ファームウェアの update の途中、ランプの点滅が緑色になることはマニュアルに書いていないので不安でした。

そこで BRD-UT16WX を接続しましたが、やはり認識してくれません。先に BRD-UT16WX の電源を入れて接続しておき、HFAS1-S10 を立ち上げなおしたら、認識したようで、やっとドライブの CD の内容が Kinsky のフォルダー画面に出てきて再生ができるようになりました。なお、マニュアルには CD の内容が Kinsky のどの画面に出てくるかなどの詳しい指示はありません。

そこでもう一度 BRD-UT16WX から Plextor Premium 2U に戻したところ Plextor Premium 2U でも再生も可能になりましたが、動作が不安定になることがあります。このようにマニュアルや画面指示のちょっとした気遣いの不足で躊躇ることがあり、また、動作確認済の IO データ機器のドライブや USB ハブは大手家電量販店でも置いていなくて、入手までに随分手間取りました。

以上から、試聴開始までに手間取りましたので、音質評価は次報に譲ります。

以上

註：Net Audio Vol.25 2017 Spring 号 P81 に関連記事が掲載されました。

